

分野	美容科		担当者	現役弁護士			
科目名	関係法規・制度		担当者経歴	当校が招へいした熊本県弁護士会所属の弁護士。			
学年	2年(後期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容の仕事をする社会人として必要とされる法制度と行政制度に関する知識を理解し、そのことを通じて専門職業人(美容師)としての社会常識を学ぶ。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	法の役割・条約法律等の法の形式・衛生法規の概要・付属法令						
2	衛生行政の意義と歴史・衛生行政の分類、保健所の役割						
3	理容師・美容師法の目的、免許のしくみ管理美容師について						
4	立ち入り検査・行政処分罰則について						
5	理容・美容業務と法律						
教材	関係法規(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	衛生管理Ⅰ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 衛生管理研修課程修了			
学年	1年(前期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	公衆衛生・環境衛生など複合的な観点から美容師、美容所における衛生管理の重要性と必要性を学び、美容師が自分自身とお客様に安全な技術を、安心して施術できるようになるために必要な知識を学んでいく。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	公衆衛生の意義と課題・公衆衛生発展の歴史・理容師美容師と公衆衛生・保健所と理美容業						
2	保健(母子、成人、高齢、精神保健について)						
3	環境衛生の概要について・空気環境と健康について						
4	環境衛生・上下水道について、衛生害虫について						
5	人と感染症・病原微生物について						
教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理教科書						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	衛生管理II		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 衛生管理研修課程修了			
学年	1年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	<input type="radio"/>	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
				<input type="radio"/>	実務経験のない教員等による授業		
環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう「環境衛生」についての基本知識を身につける。また、理美容に携わるものとして必要な感染症についての知識・技能についても学んでいく。							
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	感染症の予防						
2	理美容と感染症						
3	主な感染症・感染症防止のための対策						
4	理美容と感染症・主な感染症(空気、飛沫を介する感染症・飲食物血液等を介する感染症・動物、節足動物を介する感染症)						
5	衛生管理技術・消毒とは・消毒の意義・理美容の業務と消毒との関係						
教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理教科書						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	衛生管理Ⅲ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 衛生管理研修課程修了			
学年	2年(後期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	国家試験に向け繰り返しの模擬問題で知識を深め合格点が取れるようにしていく。						
評価方法	100点満点で評価(模擬試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	国家試験対策(模擬問題,回答解説)						
2	国家試験対策(模擬問題,回答解説)						
3	国家試験対策(模擬問題,回答解説)						
4	国家試験対策(模擬問題,回答解説)						
5	国家試験対策(模擬問題,回答解説)						
教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理教科書 模擬問題プリント						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	保健Ⅰ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 保健研修課程修了			
学年	1年(前期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業であるので、人体の構造(解剖学)と機能(生理学)について具体的な知識を学ぶ。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の体表解剖学						
2	骨の種類と構造 骨の連結 骨格器系とそのはたらき						
3	筋の種類と特徴 骨格筋とそのはたらき 表情筋と表情運動 美容の作業と筋疲労						
4	視覚 聴覚 平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚						
5	血液のあらまし、血液循環の仕組み、血液の循環経路、心臓と血管、リンパ管系の仕組み						
教材	保健(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	保健II		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 保健研修課程修了			
学年	1年(後期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容師が毛髪、肌、爪を整えるために、理論的な基礎知識を持つことが必要である。 その根本を整えるために知っておくべき知識を習得し真の美容を習得するために、皮膚の構造、皮膚の役割、皮膚の栄養を学ぶ。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。 60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	皮膚の表面、断面、表皮、表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差						
2	毛、脂腺、汗腺、爪						
3	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経						
4	対外保護作用、体温調節作用、知覚作用と皮膚反射						
5	皮膚と全身状態 皮膚と精神状態 皮膚と栄養 皮膚と体内病変						
教材	保健 (日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	保健Ⅲ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 保健研修課程修了			
学年	2年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
					実務経験のない教員等による授業		
概要	美容師が毛髪、肌、爪を整えるために、理論的な基礎知識を持つことが必要である。その根本を整えるために知っておくべき知識を習得し真の美容を習得するために、皮膚の病気、感染症を学ぶ。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	【皮膚と皮膚付属器官の保健】 皮膚、毛、爪の保護と手入れ、子どものおしゃれによる皮膚トラブル						
2	【皮膚と皮膚付属器官の疾患】 皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因と治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹 温熱・寒冷による皮膚障害						
3	【皮膚と皮膚付属器官の疾患】角化異常、色素異常、分泌異常による皮膚疾患 化膿菌、ウイルス、真菌、衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍						
4	皮膚科学のまとめ						
5	人体の構造及び機能のまとめ 復習						
教材	保健(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	化粧品化学Ⅰ		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 化粧品化学研修課程修了			
学年	1年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
					実務経験のない教員等による授業		
概要	一般的な化粧品についての基本的な理解 (シャンプー剤・メイクアップアイテム・スキンケア剤・ヘアケア剤・スタイリング剤、カラーリング剤等)						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	化粧品概論 (化粧品の必要条件・製造販、売品質等の規制・取り扱い、使用上の注意・トラブル)						
2	化粧品原料 (水性原料と油性原料の違いと種類)						
3	界面活性剤と高分子化合物・色材・香料						
4	皮膚洗浄用化粧品・化粧水・乳液の種類と特徴						
5	メイクアップ化粧品の種類と特徴① ベースメイク・ポイントメイク						
教材	化粧品化学 (日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	化粧品化学III		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 化粧品化学研修課程修了			
学年	2年(後期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	芳香製品特殊化粧品についての理解・総復習振り返り要点の確認						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	芳香製品・特殊化粧品についての種類と特徴の理解						
2	化粧品の意義、重要性、化粧品原料の理解と要点						
3	基礎化粧品の種類、メイクアップ用化粧品の特徴の理解確認						
4	頭皮、毛髪用化粧品の要点ポイント復習						
5	総まとめ (問題演習・解答・解説)						
教材	化粧品化学(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	文化論Ⅰ		担当者経歴	管理美容師資格取得 (社)日本理容美容教育センター主催美容文化論研修課程修了 (社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・実習研修課程修了			
学年	1年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	<input type="radio"/>	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
					実務経験のない教員等による授業		
概要	人が何かを身につけた時代から現代に至るまでの日本及び西洋のファッション文化史を学び、美容とファッションの変遷流行を学ぶ。時代を読みデザインを起こす為のヒントを身に付ける。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	日本の美容・ファッション文化(縄文時代から安土桃山時代まで)						
2	日本の美容・ファッション文化(江戸時代から昭和初期まで)						
3	日本の美容・ファッション文化(1940年代から現代まで)						
4	美容・ファッション文化(古代エジプト時代から16世紀の西洋まで)						
5	美容・ファッション文化(17世紀から19世紀の西洋まで)						
教材	美容文化論(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	文化論II		担当者経歴	管理美容師資格取得 (社)日本理容美容教育センター主催美容文化論研修課程修了 (社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・実習研修課程修了			
学年	2年 (後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	<input type="radio"/>	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
				<input type="checkbox"/>	実務経験のない教員等による授業		
概要	人が何かを身につけた時代から現代に至るまでの日本及び西洋のファッション文化史を学び、美容とファッションの変遷流行を学ぶ。時代を読みデザインを起こす為のヒントを身に付ける。						
評価方法	100点満点で評価 (期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	美容・ファッション文化(1970年代から現代の西洋まで)						
2	和装及び洋装の礼装の種類						
3	理容業・美容業の発生から現代に至るまで、日本の理容業の歴史						
4	理容業・美容業の発生から現代に至るまで、日本の美容業の歴史						
5	日本のファッション文化史の総復習						
教材	美容文化論 (日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	運営管理		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 運営管理研修課程修了			
学年	2年(後期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	経営や経営者について基本的な考え方を学び、経営の要点を押えていく。 美容業界の現状や資金管理・会計・税金についても詳しく学んでいく。						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	経営者の視点(理容業・美容業の経営について 経営とは)						
2	経営者の視点(資金の管理・会計・税金について)						
3	人という資源(労務管理の目指すもの・健康管理・仕事と健康)						
4	従業員としての視点から(社会人としての責任・社会保険について)						
5	顧客のために(顧客が求める価値・価値の多様性・マーケティング)						
教材	運営管理(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	美容技術理論Ⅰ		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 美容実習及び美容技術理論研修課程修了			
学年	1年(前期)	時間数	60時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	2単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術における基礎技術を身に付けるにあたりしっかりとした理論の習得						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	美容技術における用具(コーム、ブラシ、シザー、レザー、クリップ、ピン、)の種類と選定方法と注意						
2	美容技術における用具(ロッド、ヘアアイロン、ドライヤー、スチーマー)の種類と選定方法と注意						
3	シャンプーイング(サイド、バック)目的・シャンプー剤の成分						
4	リンス、コンディショナー、トリートメントの目的・成分 ヘッドスパ						
5	ヘアデザイン						
6	刃物・ヘアカット正しい姿勢 ブロッキング						
7	カッティングにおける基礎理論・カット技法						
8	パーマメントウェーピングの歴史・理論						
9	パーマ剤に関する注意事項・パーマメント技術ワインドバリエーション・縮毛矯正①						
10	パーマ剤に関する注意事項・パーマメント技術ワインドバリエーション・縮毛矯正②						
教材	美容技術理論(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター、						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	美容技術理論Ⅱ		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 美容実習及び美容技術理論研修課程修了			
学年	1年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	<input type="radio"/>	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
				<input type="radio"/>	実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術における基礎技術を身に付けるにあたりしっかりとした理論の習得						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	ヘアセット(ヘアパーティング・シェービング・カーリング)						
2	ヘアセット(ヘアウェービング・ローラーカーリング・アイロンセット)						
3	バックコーミング・アップスタイル・ウィッグとヘアピース						
4	ヘアカラーリング概論・種類						
5	染毛メカニズム・パッチテスト・酸化染毛剤の技術手順・ヘアブリーチ脱色						
教材	美容技術理論(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	美容技術理論III		担当者経歴	サロンの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 美容実習及び美容技術理論研修課程修了			
学年	2年(前期)	時間数	30時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
		単位数	1単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術におけるヘア以外の技術理論の理解						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	ボディケア技術・エステティック概論						
2	フェイシャル技術・ネイル技術						
3	メイクアップ技術						
4	カウンセリング						
5	カウンセリング						
教材	美容技術理論(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	美容技術理論Ⅳ		担当者経歴	サロンの実務経験がある当校の教員。 (社)日本理容美容教育センター主催 美容実習及び美容技術理論研修課程修了			
学年	2年(後期)	時間数 単位数	30時間 1単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	講義
					実務経験のない教員等による授業		
概要	日本文化を学ぶにあたり歴史の深さも知ってもらおう						
評価方法	100点満点で評価(期末試験100%)。60点以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	日本髪の種類と違い 歴史						
2	着付け						
3	着物の用途の違いと種類						
4	着物の各部の名前と用途						
5	ワークブック						
教材	美容技術理論(日本理容美容教育センター発行)、適宜プリント配布、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	美容実習Ⅰ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員			
学年	1年(前期)	時間数 単位数	210時間 7単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
					実務経験のない教員等による授業		
概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基本技術を効率的に習得する。ワインディング技術(パーマネント技術におけるロット巻き)を中心に、カット技術も加え様々な美容の基礎技術を学びながら、美容に対する興味を深めるべく礎を築いていく。						
評価方法	700点満点で評価(出席50%、試験50%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	美容用具とモデルウィッグの取り扱い方・セッティング						
2	ワインディング① コームの扱い方・実技姿勢						
3	ワインディング② コーミング・実技姿勢						
4	ワインディング③ 国試スタイル巻き/10ブロックング・センター						
5	ワインディング④ 国試スタイル巻き/10ブロックング・センター						
6	ワインディング⑤ 国試スタイル巻き/10ブロックング・センター						
7	ワインディング⑥ 国試スタイル巻き/10ブロックング・縦・横スライス						
8	ワインディング⑦ 国試スタイル巻き/10ブロックング・シェーブ						
9	ワインディング⑧ 上巻き・センター部分ロッドの取め方						
10	ヘア・カッティング① カットの基礎知識とシザー・ズアクションのデモンストレーション・実践						
11	ヘア・カッティング② デザインカット・ワンリングスカット						
12	ヘア・カッティング③ デザインカット・ワンリングスカット						
13	ヘア・カッティング④ デザインカット・ワンリングスカット						
14	ワインディング⑨ 上巻き・センター部分ロッドの取め方						
15	ワインディング⑩ 上巻きの復習 センター部分ロッドの取まり方の確認						
16	ワインディング⑪ ブロックング/上巻きの復習						
17	ワインディング⑫ 下巻き・センター部分ロッドの取め方						
18	ワインディング⑬ 下巻きの復習 センター部分ロッドの取まり方						
19	ワインディング⑭ 右バックサイド・サイドの取め方						
20	ワインディング⑮ 左バックサイド・サイドの取め方						
21	ワインディング⑯ 10ブロックングと全頭の取まり方の確認と復習						
22	ワインディング⑰ 10ブロックング及び全頭						
23	ワインディング⑱ 10ブロックング(10分)及び全頭(30分)						
24	ワインディング⑲ まとめと復習(ブロックング10分 ワインディング30分)						
25	ワインディング⑳ まとめと復習(ブロックング10分 ワインディング30分)						
26	ワインディング㉑ まとめと復習(ブロックング10分 ワインディング30分)						
27	ワインディング㉒ まとめと復習(ブロックング10分 ワインディング30分)						
28	ワインディング㉓ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング30分)						
29	ワインディング㉔ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング30分)						
30	ワインディング㉕ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング25分)						
31	ワインディング㉖ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング25分)						
32	ワインディング㉗ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング25分)						
33	ワインディング㉘ まとめと復習(ブロックング5分 ワインディング25分)						
34	ワインディング㉙ 試験(ブロックング5分 ワインディング25分) まとめと復習						
35	ワインディング㉚ ノーブロックング説明と実践						
教材	『美容技術理論1.2』日本理容美容教育センター編、美容用具一式、配布プリント						

分野	美容科		担当者	1年担当教員			
科目名	美容実習Ⅱ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員			
学年	1年(後期)	時間数 単位数	270時間 9単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
					実務経験のない教員等による授業		
概要	美容に関する基礎理論と知識を学び、実習を通して基礎技術を的確に習得する。 主に、美容師国家実技試験課題であるワインディング及びオールウェーブセッティングを中心に美容の基礎的理論と知識を学ぶ。						
評価方法	900点満点で評価(出席50%、試験50%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	ワインディング① ノープロッキング(30分)						
2	ワインディング② ノープロッキング(25分)						
3	ワインディング③ ノープロッキング(25分)						
4	ワインディング④ ノープロッキング(25分)						
5	ワインディング⑤ ノープロッキング(25分)						
6	ワインディング⑥ 試験・ノープロッキング(25分)						
7	ヘアカット①デザインカット・前下がりボブ						
8	ヘアカット②デザインカット・マッシュカット						
9	ヘアカット③デザインカット・マッシュカット						
10	オールウェーブ① フィンガーウェーブ理論・基本技術の実践						
11	オールウェーブ② フィンガーウェーブ(基本技術復習・つなぎ方)						
12	オールウェーブ③ ノーパートオールウェーブ(1~2線目)						
13	オールウェーブ④ ノーパートオールウェーブ(3~6線目)						
14	オールウェーブ⑤ ピンカール(スカルブチュアカール)						
15	オールウェーブ⑥ ピンカール(左右リフトカール)						
16	オールウェーブ⑦ ピンカール(メイポールカール、クロッキノールカール)						
17	オールウェーブ⑧ ピンカール(メイポールカール、クロッキノールカール) バランス・構成						
18	インターンシップ①						
19	インターンシップ②						
20	インターンシップ③						
21	①バックシャンプー・ヘッドスパ実習						
22	②バックシャンプー・ヘッドスパ実習						
23	③バックシャンプー・ヘッドスパ実習						
24	オールウェーブ⑨ ノーパートオールウェーブ 全頭						
25	オールウェーブ⑩ ノーパートオールウェーブ 全頭						
26	オールウェーブ⑪ ノーパートオールウェーブ 全頭						
27	オールウェーブ⑫ ノーパートオールウェーブ 全頭						
28	オールウェーブ⑬ ノーパートオールウェーブ 全頭						
29	オールウェーブ⑭ ノーパートオールウェーブ 試験						
30	ワインディング・オールウェーブ まとめと総復習						
31	ワインディング① 国家試験課題スタイル巻き						
32	オールウェーブ① 国家試験課題 ノーパートオールウェーブ						
33	ワインディング② 国家試験課題スタイル巻き						
34	オールウェーブ② 国家試験課題/ノーパートオールウェーブ						
35	ワインディング③ 国家試験課題/スタイル巻き実践						
36	オールウェーブ③ 国家試験課題 ノーパートオールウェーブ						
37	ワインディング④ 国家試験課題/スタイル巻き実践						
38	ワインディング⑤ 国家試験課題/スタイル巻き実践						
39	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
40	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
41	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
42	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
43	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
44	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
45	ワインディング・オールウェーブ 国家試験課題タイム						
教材	『美容技術理論1.2』日本理容美容教育センター編、美容用具一式、配布プリント						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	美容実習Ⅲ		担当者経歴	サロンにて実務経験がある当校の教員			
学年	2年(前期)	時間数	120時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	4単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容実習1年次に学んだ内容を基に、美容師国家試験課題のワインディング・オールウェーブセッティング技術を的確に習得する。 主に国家試験課題について基礎技術から応用技術への転換を図り、国家試験の内容の基礎部分ができるようになる。 技術以外にも、美容教育の一環として美容行為及び付随する作業を実務実習する。						
評価方法	400点満点で評価(出席50%、期末テスト50%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	ワインディング22分タイム						
2	ワインディング22分タイム						
3	ワインディング22分タイム						
4	オールウェーブ27分タイム						
5	オールウェーブ27分タイム						
6	ワインディングパート別タイム						
7	ワインディングパート別タイム						
8	ワインディングパート別タイム						
9	ワインディングパート別タイム						
10	ワインディング21分タイム						
11	ワインディング21分タイム						
12	ワインディング21分タイム						
13	オールウェーブ25分タイム						
14	オールウェーブ25分タイム						
15	オールウェーブ25分タイム						
16	ワインディング20分タイム(見極め)						
17	ワインディングタイム20分(見極め)						
18	オールウェーブ25分(見極め)						
19	オールウェーブ25分試験						
20	ワインディング20分試験						
教材	教員作成資料 Wウィッグ						

分野	美容科		担当者	2年担当教員			
科目名	美容実習Ⅳ		担当者経歴	サロンにて実務経験がある当校の教員			
学年	2年(後期)	時間数	300時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	10単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容師国家試験課題のフィンディング・オールウェーブセッティングの技術を習得する。 国家試験(実技)での規定タイム内の仕上げに向け基礎技術力を養い、国家試験課題・衛生について理解する。						
評価方法	100点満点で評価(出席50%、期末テスト50%)、60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	国家試験に向けたカリキュラム説明						
2	オールウェーブ 実技試験に向けた最終パーマ						
3	オールウェーブ 実技試験に向けた最終パーマ						
4	オールウェーブ パーマ						
5	オールウェーブ 全体のバランス確認(練習・審査)						
6	オールウェーブ 全体のバランス確認(練習・審査)						
7	オールウェーブ フィンガーウェーブ(練習・審査)						
8	オールウェーブ 25分 ピンカール(練習・審査)						
9	フィンディング 20分(練習・審査)						
10	フィンディング 全体バランス確認(練習・審査)						
11	フィンディング 全体バランス確認(練習・審査)						
12	フィンディング 全体バランス確認(練習・審査)						
13	フィンディング 全体バランス確認(練習・審査)						
14	フィンディング 全体バランス確認(練習・審査)						
15	オールウェーブ 全体バランス確認(練習・審査)						
16	オールウェーブ 全体バランス確認(練習・審査)						
17	オールウェーブ 全体バランス確認(練習・審査)						
18	オールウェーブ 全体バランス確認(練習・審査)						
19	オールウェーブ 全体バランス確認(練習・審査)						
20	国家試験対策(カット)						
21	国家試験対策(カット)						
22	国家試験対策(カット)						
23	国家試験対策(カット)						
24	国家試験対策(カット)						
25	国家試験対策(カット)						
26	国家試験対策(カット)						
27	国家試験対策(カット)						
28	国家試験対策(カット)						
29	国家試験対策(カット)見極め						
30	国家試験対策(カット)見極め						
31	国家試験 第2課題①						
32	国家試験 第2課題②						
33	国家試験 第2課題③						
34	国家試験 第2課題④						
35	カット① 20分タイムトライ						
36	カット② 20分タイムトライ						
37	カット③ 20分タイムトライ						
38	カット④ 20分タイムトライ						
39	カット⑤ 20分試験						
40	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
41	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
42	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
43	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
44	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
45	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
46	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
47	国家試験課題と衛生込みの模擬練習						
48	国家試験課題と衛生込みの模擬練習(見極め)						
49	国家試験課題と衛生込みの模擬練習(見極め)						
50	国家試験課題と衛生込みの模擬練習(試験)						
教材	教員作成資料 Wウィッグ AWウィッグ C練習用ウィッグ C本番用ウィッグ						

分野	美容科		担当者	1年担当教員 ・ 現役美容師			
科目名	美容総合Ⅰ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員、及び当校が招へいした現役美容師			
学年	1年(前期)	時間数	60時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	2単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術理論の学習状況に配慮し、より専門的な技術を施設内で習得する。 美容サロンの業務について、現場経験者の体験をもとに具体的・実践的に学ぶことにより、職業意識を高める。						
評価方法	200点満点で評価(出席100%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	オリエンテーション①						
2	オリエンテーション②						
3	オリエンテーション③						
4	スタイルブック①						
5	①現役美容師セミナー						
6	②現役美容師セミナー						
7	③現役美容師セミナー						
8	2年生によるコースレクチャー①						
9	2年生によるコースレクチャー②						
10	サロン見学について						
教材	各セミナーに応じた美容用具一式 配布プリント、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	1年担当教員 ・ 現役美容師			
科目名	美容総合II		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員、及び現役美容師			
学年	1年(後期)	時間数	150時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	5単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術理論の学習状況に配慮し、より専門的な技術を施設内で習得する。 美容サロンの業務について、現場経験者の体験をもとに具体的・実践的に学ぶことにより、職業意識を高める。						
評価方法	500点満点で評価(出席100%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	美容ディーラーの営業マンによる美容業界セミナー						
2	現役美容師によるセミナー(プロフェッショナルセミナー) ①						
3	現役美容師によるセミナー(プロフェッショナルセミナー) ②						
4	2年生によるヘアショー(ビューティーアップ)の見学 ・ シネマ鑑賞						
5	パーソナルカラーセミナー						
6	熊本JACKヘアショー見学・就職ガイダンス						
7	2年生によるコースレクチャー③						
8	就職準備・模擬面接						
9	クリスマスパーティー						
10	コースプレゼンテーション						
11	シネマ鑑賞(映画に学ぶファッションとメイク)						
12	校内就職ガイダンス①						
13	校内就職ガイダンス②						
14	熊本県警講話						
15	スタイルブック作成						
16	社会保険労務士セミナー						
17	セイファート就職セミナー						
18	キャリア形成セミナー						
19	福祉美容						
20	模擬面接						
21	シャンプー・ヘッドスパ						
22	シャンプー・ヘッドスパ						
23	シャンプー・ヘッドスパ						
24	シャンプー・ヘッドスパ						
25	シャンプー・ヘッドスパ						
教材	各セミナーに応じた美容用具一式 配布プリント、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員 ・ 現役美容師			
科目名	美容総合Ⅲ		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員、及び当校が招へいした現役美容師			
学年	2年(前期)	時間数	120時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	4単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術理論の学習状況に配慮し、より専門的な技術を施設内で習得する。 美容サロンの業務について、現場経験者の体験をもとに具体的・実践的に学ぶことにより、職業意識を高める。						
評価方法	400点満点で評価(出席100%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	オリエンテーション①						
2	オリエンテーション②						
3	1年生へのコースレクチャー①						
4	1年生へのコースレクチャー②						
5	キャリアアップ授業① (自分の夢・希望を見つめ将来への道筋を立てる)						
6	キャリアアップ授業② (面接練習・個人面接・自己PR)						
7	キャリアアップ授業③ (面接練習・集団面接・自己PR)						
8	キャリアアップ授業④ (面接練習・集団面接・自己PR)						
9	美容ディーラーの営業マンによる美容業界セミナー①						
10	若手美容師セミナー①						
11	若手美容師セミナー②						
12	若手美容師セミナー③						
13	若手美容師セミナー④						
14	企業ガイダンス①						
15	企業ガイダンス②						
16	シャンプー						
17	シャンプー						
18	ヘッドスパ						
19	美容師によるヘアショー						
20	美容師によるヘアショー						
教材	各セミナーに応じた美容用具一式 配布プリント、プロジェクター						

分野	美容科		担当者	2年担当教員 ・ 現役美容師			
科目名	美容総合IV		担当者経歴	サロンにて実務経験のある当校の教員、及び当校が招へいた現役美容師			
学年	2年(後期)	時間数 単位数	60時間 2単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
					実務経験のない教員等による授業		
概要	美容技術理論の学習状況に配慮し、より専門的な技術を施設内で習得する。 美容サロンの業務について、現場経験者の体験をもとに具体的・実践的に学ぶことにより、職業意識を高める。						
評価方法	200点満点で評価(出席100%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	スポーツ大会						
2	ウエディングドレスショー						
3	着物ショー						
4	カットショー						
5	メイクショー						
6	ハロウィンパーティー(ハロウィンメイク)						
7	コースコラボ授業						
8	コースコラボ授業						
9	シネマ鑑賞(映画に学ぶファッションとメイク)						
10	シネマ鑑賞(映画に学ぶファッションとメイク)						
教材	各セミナーに応じた美容用具一式 配布プリント、プロジェクター						

分野	美容科(Make Nail Course)		担当者	コース担当教員		
科目名	メイクネイルⅠ		担当者経歴	サロンでの実務経験がある、当校の教員。 IMA(International Makeup Artist)検定の認定講師。 日本ネイリスト協会(JNA)1級検定を終了している当校の教員。		
学年	2年(前期)	時間数 単位数	150時間 5単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式 実習
					実務経験のない教員等による授業	
概要	化粧品の基本知識・道具の使い方を学ぶ。モデルの骨格分析、肌色に合わせたメイクが出来るようになる。モデルの骨格、肌色に合わせたメイクが出来るようになる。ファッションに似合うヘアメイク企画が出来るようになる。美容の現場で必要とされるメイクアップ技術と知識を持った技術者を育成する。爪の歴史、病気、消毒法、カウンセリングに始まりネイルケア、ネイルカラー・ネイルアートの基礎から応用まで学ぶ					
評価方法	500点満点で評価(出席50%、検定50%)。60%以上で単位を付与。					
単元						
1	道具配り、道具確認、セルフメイク実習、シウウエムラの歴史					
2	スキンケアコンセプト スキンケアの必要性、テーブルセッティングの仕方					
3	スキンケアテクニック① ポイントクレンジングからベースクレンジング					
4	スキンケアテクニック② 乳化から拭き取り					
5	スキンケアテクニック③ ローションーニングからティッシュオフ					
6	メイクアップテクニック① ベース、ファンデーション、フェイスパウダー					
7	メイクアップテクニック② ベース、ファンデーション、フェイスパウダー					
8	メイクアップテクニック③ リップ、アイシャドー、アイライン					
9	メイクアップテクニック④ リップ、アイシャドー、アイライン					
10	メイクアップテクニック⑤ アイラッシュ、アイブロー、チーク					
11	メイクアップテクニック⑥ アイラッシュ、アイブロー、チーク					
12	道具・用具の説明。ネイル技術を学ぶ心構え、爪の歴史					
13	相モデルでのテーブルセッティング、ファイリング、ネイルケア					
14	ネイルハンドでのベースコート、ネイルカラーリング、トップコート					
15	外部講師による授業(ベースジェルネイル、ジェルカラーリング、トップジェル)					
16	外部講師による授業(ベースジェルネイル、ジェルカラーリング、トップジェル)					
17	外部講師による授業(相モデルでのベースジェルネイル、ジェルカラーリング、トップジェル)					
18	外部講師による授業(チップ及び、相モデルでのジェルアート(ピーコック))					
19	JNAジェルネイル検定初級に基づく実技試験対策(技術チェック)					
20	JNAジェルネイル検定初級に基づく実技試験対策(タイムレッスン)					
21	JNAジェルネイル検定初級に基づく実技・学科試験					
22	メイクアップデザインテクニック① リップ、アイ、3パターンで実習					
23	メイクアップデザインテクニック② アイブロー、チーク、3パターンで実習					
24	卒業生講演①					
25	卒業生講演①					
教材	JNAテクニカルシステムジェルネイル(発行NPO法人日本ネイリスト協会) 適宜プリント配布、ネイル用具一式 メイクボックス					

分野	美容科(Make Nail Course)		担当者	コース担当教員			
科目名	メイクネイルII		担当者経歴	サロンでの実務経験がある、当校の教員。 IMA(International Makeup Artist)検定の認定講師。 日本ネイリスト協会1級検定を終了している当校の教員			
学年	2年(後期)	時間数	60時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	2単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	化粧品の基本知識・道具の使い方を学ぶ。モデルの骨格分析、肌色に合わせたメイクが出来るようになる。モデルの骨格、肌色に合わせたメイクが出来るようになる。ファッションに似合うヘアメイク企画が出来るようになる。美容の現場で必要とされるメイクアップ技術と知識を持った技術者を育成する。爪の歴史、病気、消毒法、カウンセリングに始まりネイルケア、ネイルカラー、ネイルアートの基礎から応用まで学ぶ。						
評価方法	500点満点で評価(出席50%、作品評価50%)。60%以上で単位を付与。						
単元							
1	チップ及び相モデルでのジェルアート						
2	チップ及び相モデルでのジェルアート						
3	チップ及び相モデルでのジェルアート						
4	テーマに合わせたデザインネイル						
5	テーマに合わせたデザインメイク						
6	コンテスト準備 デザイン決め 買い出し等						
7	コンテスト準備 デザイン決め 練習						
8	コンテスト準備 タイムレッスン						
9	コンテスト準備 タイムレッスン						
10	ビューティーアップコンテスト 審査 結果発表						
教材	JNAテクニカルシステムジェルネイル(発行NPO法人日本ネイリスト協会) 適宜プリント配布、ネイル用具一式 メイクボックス						

分野	美容科(Topstylist Course)		担当者	コース担当教員			
科目名	トップスタイリストⅠ		担当者経歴	サロンでの実務経験がある、当校の教員			
学年	2年(前期)	時間数	150時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	5単位				
概要	<p>クリエイティブカット技術(ワンリングス・グラデーション・レイヤー)の切り方を学び、実際に行う。</p> <p>カット技法を組み合わせるとレンドスタイルを習得し理解を深める。染毛のメカニズム、色の基本、染毛のレベルとアンダー トーンを復習し、知識を応用する。現役の美容師に学ぶことにより、より現場に近い技術を習得することができる。作成した作品は写真に写しフォトコンテストに出品する。自身で考えたデザインを形にする表現力を身につける。</p>						
評価方法	500点満点で評価(出席50%、検定50%)。60%以上で単位を付与。						
単元							
1	道具渡し コンテストレクチャー						
2	ワンリングスブロー練習 ラップブロー・テンションブロー・アイロンテクニック						
3	ライン スクエアカット デモンストレーション カット実践						
4	ライン ラウンドカット デモンストレーション カット実践						
5	ライン トライアングルカット デモンストレーション カット実践						
6	ウィッグカラー プリーチ・マニキュア・デザインカラー						
7	フォトコンテスト作品デザイン決め						
8	ウィッグ仕込み プリーチ マニキュア ヘアカラー						
9	フォトコンテスト用 作品作り①						
10	フォトコンテスト用 作品作り②						
11	フォトコンテスト用 作品作り③						
12	フォトコンテスト用 作品作り④ 作品フォト撮影 アピールポイント まとめ						
13	フォトコンテスト 作品提出						
14	メンズカット スタイリング						
15	メンズカット スタイリング フィニッシュワーク						
16	シャンプー実践授業						
17	外部講師① マネキンを使って実践 ウィーピング(リハーサルクリーム)						
18	外部講師② マネキンを使って実践 ウィーピング(ブリーチ)						
19	外部講師③ マネキンを使って実践 バレイヤー・ジュ・オンカラー						
20	外部講師④ カラーセミナー まとめ						
21	レイヤーの基礎技術の復習とチョップカット、セニングカット技術						
22	セムレイヤー 10センチ デモンストレーション カット実践						
23	マッシュレイヤー グレイヤーを使いマッシュスタイルを作成						
24	刈上げカット 刈上げスタイルの作成						
25	自由制作 ウィッグにて1スタイル作成 フィニッシュワークまで						
教材	ブロー用ブラシ・カットウィッグ・カラー剤・ホイール・フォトコン用ウィッグ・アップ道具一式・ドライヤー・シザー・シザーケース・セニング ※各個人で用意していただくものがあります。						

分野	美容科 (Topstylist Course)		担当者	コース担当教員			
科目名	トップスタイリストII		担当者経歴	サロンでの実務経験がある、当校の教員			
学年	2年(後期)	時間数	60時間	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習
		単位数	2単位		実務経験のない教員等による授業		
概要	コテやアイロンを使い現場で使えるヘアアレンジ、スタイリングを学び、ウィッグにて学んだことの集大成として各テーマを決めカット、カラー、スタイリング等の技術を駆使し作品を作成。コンテストに臨み、現役美容師による審査、表彰をもらう。						
評価方法	500点満点で評価(出席50%、作品評価50%)。60%以上で単位を付与。						
単元							
1	ヘアセット① アイロン・コテの使い方を学ぶ(カール・波ウェーブ・縦巻き)						
2	ヘアセット② アップの基本						
3	外部講師によるリアルサロンワーク①						
4	外部講師によるリアルサロンワーク②						
5	ビューティーアップコンテストへ向けてデザインを考える						
6	ウィッグ練習① 1台2回カット ブロー・アイロン仕上げ						
7	ウィッグ練習② 1台2回カット ブロー・アイロン仕上げ						
8	ウィッグ練習③ 75分タイム						
9	ウィッグ練習④ 75分タイム						
10	ビューティーアップコンテスト 作品提出 表彰						
教材	ブロー用ウィッグ・カラー用ウィッグ・カラー剤・ドライヤー・シザー・シザーケース・セニング ※各個人で用意するものがあります						

分野	美容科(Bridal Course)		担当者	コース担当教員・着付け講師			
科目名	ブライダルⅠ		担当者経歴	サロンの実務経験がある当校の職員。 JWSA(日本ウェディングスタイリスト協会)の認定講師。 山野流着装「皆伝」。山野流着装西日本ブロック支部 専任講師。 花嫁着付専任講師。1級着付け技能士。			
学年	2年(前期)	時間数 単位数	150時間 5単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習及び講義
					実務経験のない教員等による授業		
概要	ブライダルヘアアレンジ等、ブライダルの専門的な知識を学ぶ。 ヘアアレンジは、アイロンの使い方から、崩し方、基本のしっかりしたアップスタイルと、現役セットサロンの外部講師を招いて今流行のアップスタイルの技術を習得する。ブライダルドレスフィッティング等の実習も行う。 浴衣・小紋・留袖・振袖などの着付けの基礎から応用まで身につけ、人に着せる着付けと、自分で着られる着付けを習得する。						
評価方法	500点満点で評価(出席50%、検定50%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	アイロン巻き、編み込み、ピンの打ち方、ローブ編み						
2	編み込みとローブ編みのアレンジアップ・編み込みアレンジ・フィッシュボーン						
3	ウォーターフォール・Gでゴムの結び方・おだんご・毛先フワフワアップ						
4	JWSA 婚礼美容の接客、業務と必要なスキル						
5	JWSA 和装のお仕度(浴衣)、新婦のお仕度(洋装)						
6	合わせ夜会巻、夜会巻き(たば毛あり、たば毛なし)						
7	JWSA 新婦のお仕度(和装)、新郎のお仕度						
8	着物の基礎知識・着物のたたみ方 浴衣の着付け、細帯の帯結び						
9	小紋の着付け:小紋の着付けと名古屋帯(一重太鼓)の帯結び(二人一組)						
10	基礎技術を使ったハーフアップスタイル						
11	基礎技術を使った編みおろしスタイル						
12	基礎技術を使った洋アップスタイル						
13	JWSA 留袖、振袖のお仕度						
14	JWSA 新婦のアテンドテクニック						
15	JWSA スキルチェック 知識、実務、技術の習得						
16	相モデルでのヘアアレンジ実習						
17	JWSA 認定試験						
18	ドレスショー準備						
19	ドレスショー準備						
20	ドレスフィッティング						
21	ドレスショーモデル ヘアセット						
22	留袖の着付け:帯結び二重太鼓、交差する結び方(二人一組)						
23	振袖の着付け:振袖の着付けと袋帯(二枚扇)の帯結び(二人一組)						
24	総仕上げ:一人で着付けと一重太鼓						
25	総仕上げ:二人一組で二重太鼓の結び方						
教材	JWSAテキスト、ピンケース一式、ブラシ、スプレー、検定教材、配布プリント						

分野	美容科(Bridal Course)		担当者	コース担当教員・着付け講師			
科目名	ブライダルII		担当者経歴	サロンでの実務経験がある当校の職員。 JWSA（日本ウェディングスタイリスト協会）の認定講師。 山野流着装「皆伝」。山野流着装西日本ブロック支部 専任講師。 花嫁着付専任講師。1級着付け技能士。			
学年	2年(後期)	時間数	60時間	<input type="radio"/>	実務経験のある教員等による授業	授業形式	実習及び講義
		単位数	2単位	<input type="checkbox"/>	実務経験のない教員等による授業		
概要	<p>ブライダルヘアアレンジ等、ブライダルの専門的な知識を学ぶ。 ヘアアレンジは、アイロンの使い方から、崩し方、基本のしっかりしたアップスタイルと、現役セットサロンの外部講師を招いて今流行のアップスタイルの技術を習得する。 ブライダルドレスフィッティング等の実習も行う。 浴衣・小紋・留袖・振袖などの着付けの基礎から応用まで身につけ、人に着せる着付けと、自分で着られる着付けを習得する。</p>						
評価方法	500点満点で評価（出席50%、校内コンテスト50%）。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	日本髪アレンジ						
2	ドレスフィッティング 相モデルヘアセット						
3	外部講師による授業（ストレートアイロンを使って波ウェーブ・毛束の引き出し方）						
4	外部講師による授業（波ウェーブのアレンジセット）						
5	外部講師による授業（浴衣スタイル・洋服スタイルのアレンジ・SNSに適した写真の撮り方）						
6	外部講師による授業（アップスタイルコンテスト）						
7	ビューティーアップコンテスト 練習						
8	ビューティーアップコンテスト 練習						
9	ビューティーアップコンテスト 練習						
10	ビューティーアップコンテスト						
教材	JWSAテキスト、ピンケース一式、ブラシ、スプレー、検定教材、配布プリント						

分野	美容科 (Eyelash Designer Course)		担当者	コース担当教員			
科目名	アイラッシュ ボディジュエリー		担当者経歴	コース担当教員 サロンでの実務経験のある当校の教員。 ABEアイラッシュエクステンションディレクター課程を修了。			
学年	2年(前期)	時間数 単位数	150時間 5単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	学科及び実習
					実務経験のない教員等による授業		
概要	安全、安心なエクステンションを施術する上で、道具の役割 衛生の知識と消毒の必要性、眼、皮膚構造理解を基にエクステンション技術を身につけ検定取得にむけての練習を行う、又外部講師による現場での技術を教えて貰う事で現場の厳しさと技術の向上、即戦力を身につけてもらう ボディジュエリーの概要(歴史と現代での活用例)、グリッターでの色の出し方、エアープラシの使い方と濃淡技術を学ぶ。 マーケティング授業では、理想のサロンづくりをする上での目標を持ってもらい、実践的なイメージ製作まで進める。						
評価方法	500点満点で評価(出席50%、検定試験50%)。60%以上で単位を付与。						
単元	授業内容						
1	まつ毛エクステンションの概要・歴史・現状・用具の取り扱い方と特徴・名称理解						
2	ツイザーの持ち方・角度の入れ方・シートでの練習						
3	学科第1章～3章 用具・衛生管理 病原微生物・感染症の種類、細菌についての理解と消毒の必要性						
4	学科第4章保健 眼、皮膚、まつ毛に関する知識						
5	学科第5章～6章 カウンセリング技術 カウンセリングの必要性・カウンセリング指導						
6	ツイザーワーク(シートにJCカールの装着練習・WIGにて右目Cカール・左目Jカール全付)						
7	ツイザーワーク(WIGにて右目Cカール・左目Jカール全付)						
8	オフデモスト・実習・前処理(プレバレーション)						
9	ウィッグでのテーピング練習とプレ処理・1時間タイムトライアル						
10	ウィッグでのテーピング練習と相モデルでのプレ処理						
11	相モデルでのテーピング練習とプレ処理・1時間タイムトライアル						
12	復習(右目Cカール・左目Jカール全付)						
13	タイムトライアル(右目Cカール・左目Jカール オフ)						
14	検定手順説明・デモンストレーション 学科試験強化						
15	検定試験模擬テスト・学科試験強化						
16	検定試験模擬テスト						
17	検定試験						
18	まつ毛パーマ技術、ウィッグによる技術						
19	マーケティング授業						
20	自分のサロンづくり(DM製作、POP製作)						
21	サロン発表会						
22	ボディジュエリーの歴史・デザイン書き・転写の仕方・セルフボディジュエリー(シール)						
23	相モデルにて前回の転写シートを使い、ボディジュエリー						
24	セルフボディジュエリー、エアープラシ・グラデーションデモンストレーション						
25	ボディジュエリー、エアープラシ・グラデーション						
教材	ABEtext bookツイザー・医療用テープサージカルテープ・グルー・エクステ・フロアー・練習用ウィッグ・消毒用エタノール・リムーバー・コム・グルートレー・綿棒・コットン・キッチンペーパー・精製水・シザー・コム・ピン・ゴム・ストレートアイロンエアープラシ・エアープラシ用ペイント・転写シート・鉛筆・グリッター・グルー・ベビーパウダー・精製水・アクリルペイント・エタノール・クリーナー						

分野	美容科 (Eyelash Designer Course)		担当者	コース担当教員			
科目名	アイラッシュ ボディジュエリーII		担当者経歴	コース担当教員 サロンでの実務経験のある当校の教員。 ABEアイラッシュエクステンションディレクター課程を修了。			
学年	2年(後期)	時間数 単位数	60時間 2単位	○	実務経験のある教員等による授業	授業形式	学科及び実習
					実務経験のない教員等による授業		
概要	<p>安全、安心なエクステンションを施術するために、道具の役割、衛生の知識と消毒の必要性、眼、皮膚構造を学習する。エクステンション技術を身につけ検定取得にむけての練習を行う。</p> <p>外部講師による現場での技術を教えて貰う事で現場の厳しさと技術の向上、即戦力を身につけてもらう。</p> <p>ボディジュエリーでは、コンテストにむけて、独自の作品作りにむけてアドバイスを行っていく。</p> <p>500点満点で評価（出席50%、コンテスト作品50%）。60%以上で単位を付与。</p>						
評価方法	授業内容						
単元	外部講師による授業（カウンセリングとクレーム処理・テープワーク）						
1	外部講師による授業 (テープワーク・キュートデザイン実技・セクシーデザイン実技・その他デザイン実技)						
2	外部講師による授業 (テープワーク・ポリウムラッシュデモンストレーション・その他デザイン実技)						
3	外部講師による授業 (テープワーク・セクシーデザイン実技・その他デザイン実技)						
4	テーマを決めて相モデルボディージュエリー						
5	コンテストに向けた練習①						
6	コンテストに向けた練習②						
7	コンテストに向けた練習③						
8	コンテストに向けた練習④						
9	ボディージュエリー②（エアブラシの使い方、デモスト）						
10	ステンシル、シールでのエアブラシの使い方、相モデル						
教材	<p>ABEtext bookツイザー・医療用テープサージカルテープ・グルー・エクステ・プロアー 練習用ウィッグ・消毒用エタノール・リムーバー・ゴム・グルートレー・綿棒・コットン・ キッチンペーパー・精製水・シザー・コーム・ピン・ゴム・ストレートアイロン エアブラシ・エアブラシ用ペイント・転写シート・鉛筆・グリッター・グルー・ ペビーパウダー・精製水・アクリルペイント・エアタノール・クリーナー</p>						